

避難施設関係者連絡会実施報告書

1 実施日時 2024年7月5日(金) 10:00～11:15

2 連絡会の場所(会場) 塚中学校 第二会議室

3 出席者

学校 役職 校長 工藤 憲治 役職 副校長 島田 健一

防災課 2名

指定職員 3名

市民 組織名 相原中村町内会自主防災隊 人数 1名

組織名 相原仲町会自主防災会 人数 3名

組織名 相原町坂下町会自主防災隊 人数 1名

組織名 陽田町内会自主防災隊 人数 1名

組織名 元橋町会自主防災隊 人数 1名

組織名 境町会自主防災隊 人数 1名

4 打合せ内容

- (1) 挨拶、構成団体の紹介、自己紹介(学校、地域、町田市)
- (2) 避難施設運営委員長の確認
- (3) 避難施設開設・運営マニュアルの確認と前回の訓練の振り返り
- (4) 避難施設開設訓練の日時、訓練内容の確認
- (5) その他

5 議事録(連絡会の中で出た主な意見や意見交換内容など)

【避難施設運営委員長及び副委員長の選出について】

委員長:元橋町会 中野 様 副委員長:陽田町会 一村様

【避難施設開設・運営マニュアルの見直しについて】

体育館の避難レイアウトについては、マニュアル内の自主防災組織順に配置する

(体育館を8区画に区切り、2区画は予備で6区画に6町内会を配置し、各自主防災隊長に共有する)

第1段階(体育館、武道館)、第2段階(各教室)で避難する場所に変更なし

【避難施設開設訓練の日時等】

11月10日(日)10時～ 堺中学校 昨年に引き続き第1部、第2部にわけて行う。

第1部 各町内会で集合場所を決めて集合し、町内会ごとに堺中の体育館の決められた場所に避難。

点呼をとり、各町内会の自主防災隊長 or 役員は、委員長または副委員長に集合人数を報告。

(市の職員は誘導、説明等をしない。実災害を想定して、各町内会での避難、点呼、報告とする)

その後、体育館で指定職員による、テントの設営やアルファ化米の調理などのデモンストレーションを行い、各町内会でテントの設営と、テント内生活の体験を行う。

第2部 体育館の外に出て、備蓄倉庫内の備蓄や資機材の確認や応急給水栓の確認を行う。

【意見や質問等について】

・堺中の指定職員は何名で、どのくらいの時間で到着するのか。

指定職員は4名で、15分～20分ほどで到着予定の職員が2名いるが、職員も被災者となり、必ずしも最初に堺中に来られるとは限らないので、各自主防災隊には初動対応からお願いしたい。

・医療従事者について周辺の個人医院に頼るのが望ましいのではないか。

医師会等と協定は結んでいるが、現段階ではだれが医療従事者としてどこに派遣されるのかは

決まっていない。(相原地区では相原小学校が震災時医療拠点となっている)

・段ボールベッドも備蓄倉庫にあるか。テントと一緒に設置できるとよいと思う。

4日目から順次段ボールベッドが配備されるよう事業者と協定を結んでいる。

・堺中よりも相原小のほうが避難に適した地区があるが、それでも堺中に避難しなければいけないか。

市ではどこから避難してきても受け入れていただくよう運用をしているので、例えば、横浜線の相原小側から堺中側に渡れないなどの事象が発災時にあれば、相原小に避難していただいでよい。

地域住民のほか町内会自治会に加入していない旅行者や外国人の方も避難してくる可能性がある。

・災害時は授乳スペース、トイレ、着替えの場所などの検討で女性の活躍する場面が多いので、女性の各隊長や役員への登用などの運用も考えてほしい。→ ご意見として防災課内で共有させていただく。

・今回の訓練は、炊き出しやテントの設営、体験をしたい。また、能登の地震で水不足が話題となったので、応急給水栓の操作や確認や、備蓄に関してもどれくらい入っているか倉庫の確認も行いたい。

いただいた要望については、全て今回の訓練で実施する予定。
